

議会だより

第83号

令和6年
10月24日発行



時折、小雨が降るあいにくの空模様でしたが、
全学年リレーで一人一人が精一杯、走り切りました。

柳田小・保・地区民合同運動会(9月22日)

小学校3・4・5・6年生による力強いダンスで大いに会場を盛り上げました。



【主な内容】

8～9月会議で決めたこと … 2	一般質問(9人が登壇) …… 8
令和6年度補正予算 …… 3	市民の声 …… 13
委員会レポート …… 6	議会だよりクイズ …… 14

議会の情報を発信中!

Facebook



8月～9月会議で決めたこと

8月～9月会議で決まった主な事業を紹介します。



◆壱岐市告知放送個別受信機購入契約の締結について

契約の方法：制限付き一般競争入札

契約の金額：4,180万円

契約の相手方：株式会社 九電工 壱岐営業所 所長 徳永 智宏

◆初山漁港(初瀬地区)漁村再生工事(2工区)請負契約の締結について

契約の方法：制限付き一般競争入札

契約の金額：1億6,487万6,800円

契約の相手方：立山建設株式会社 代表取締役 立山 浩一

◆壱岐市行政組織条例の一部改正について

第2条に規定する各部の分掌事務について見直しを行い、行政ニーズへの対応とより効率的な行政運営を図るため、条例を改正する。

主な改正内容：（1）「総合計画に関すること。」を企画振興部から総務部へ移管。

（2）企画振興部の所掌事務として「市民協働に関すること。」を明記。また、現在、総務部SDGs未来課で所管している「エネルギー政策に関すること。」を企画振興部へ移管。

（3）「高齢者福祉に関すること。」を市民部から保健環境部へ移管。

施行日：令和7年1月1日

◆壱岐市へき地保育所設置条例の一部改正について

令和7年3月31日をもって壱岐市立柳田保育所・志原保育所を閉所するため所要の改正を行う。

◆壱岐市国民健康保険条例の一部改正について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律（令和5年法律第48号）のうち、国民健康保険被保険者証（健康保険証）の廃止に関する改正規定（同法第10条）の施行期日が令和6年12月2日と定められたことに伴い、所要の改正を行う。

参考：被保険者証の廃止に伴う新たな書面の交付について

既に交付されている被保険者証は、有効期限まで使用可能（最長で令和7年7月31日まで）。
 今後は、マイナンバーカードを保険証として利用すること（マイナ保険証）で医療機関での受付等を行うことになるが、マイナンバーカードを持っていない方及びマイナ保険証の利用登録をしていない方には、資格確認書（これまでの保険証と同じ情報を記載したもの）を職権で交付するため、これまでと同様に医療機関での受付等を行える。

◆公の施設の指定管理者の指定について

市が所管する各施設の管理・運営者を選定し、指定する。

○壱岐市ケーブルテレビ施設

指定管理者：光ネットワーク株式会社 代表取締役 河部 祐司

指定期間：令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

◆人権擁護委員候補者の推薦について

任期満了に伴い、内山 圭三 氏と安永 悠子 氏の再任の推薦を了承した。

審議結果をP5の「議案と審議結果一覧表」に示しています。

令和6年度
補正予算

一般会計の9月補正・追加補正予算額計

3億662万7千円

特別会計の9月補正予算額計

4,515万7千円

一般会計＋特別会計補正後の予算額合計

330億7,471万4千円

○令和6年度各会計予算一覧

(単位：千円)

会計名		現計予算額	9月補正予算額	9月追加補正予算額	補正後予算額合計
一般会計		24,767,915	179,827	126,800	25,074,542
特別会計	国民健康保険	3,479,549			3,479,549
	後期高齢者医療	449,987			449,987
	介護保険	3,752,146	40,570		3,792,716
	三島航路	126,326	4,587		130,913
	農業機械銀行	147,007			147,007
	合計	7,955,015	45,157		8,000,172
一般会計・特別会計の合計		32,722,930	224,984	126,800	33,074,714

どんな予算のあと？

政務活動費（議会事務局）90万円 新規

議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として政務活動費を交付することにより、議員の政策形成能力の向上及び議会の審議機能強化を図る。

●事業内容

政務活動費補助金 月額1万円×15人×6か月（10月～3月）＝90万円

ジェットfoil更新支援事業（総務課）4,912万5千円 新規

九州郵船が運行するジェットfoilは、本市の市民生活と振興発展に重要な役割を果たしているが、建造から30年が経過し、老朽化が進み、更新が課題となっている。しかし、建造費の高騰等により航路事業者単独での更新は困難な状況にあるため、国、県、市が一体となって更新にかかる建造費の一部を支援することにより、現在の運航体制を維持・確保し、航路の安定化を図る。

●事業内容

航路事業者：九州郵船株式会社

船価（税抜）：78億6千万円

建造期間：建造契約より概ね4年程度（令和6年度下半期～令和10年度上半期）

建造費負担割合：国1/4、県1/8、壱岐市1/16、対馬市1/16、実施主体1/2

障害者自立支援医療事業（市民福祉課）1,946万円 増額

障害者総合支援法に伴う、自立支援医療（更生医療・育成医療）及び療養介護医療に対して給付を行う。

●事業内容

令和6年6月から、市内の自立支援医療（更生医療）指定医療機関が1か所追加になったことにより、自立支援医療制度の利用増加が見込まれるため、給付費を増額する。

消防操法大会事業費（消防本部）890万4千円 増額

今年8月に開催された第38回長崎県消防ポンプ操法大会において、壱岐市代表として出場した芦辺地区第1分団がポンプ車操法の部において見事優勝し、全国大会出場が決定したことから全国大会に係る出場旅費及び関連費用を計上。

●事業内容

〈第30回全国消防操法大会〉

開催予定日：令和6年10月12日（土）

開催地：宮城県宮城郡利府町（宮城県総合運動公園グランディ・21）

出場チーム：壱岐市消防団芦辺地区第1分団（ポンプ車操法の部）

小学校教育振興費（教育総務課）30万円 増額

コミュニティ・スクールの機能を活用し、地域や民間などとの連携・協働により教員の多岐にわたる業務を軽減させ、子どもと向き合う時間を確保する働き方改革について研究を進めることで、働き方改革の推進及びコミュニティ・スクールの更なる推進を図る。

●事業内容

コミュニティ・スクールによる働き方改革事業

研究指定校：那賀小学校(県内指定校：3校)

研究指定期間：令和6～7年度

主な研究計画：働き方改革をコミュニティ・スクールが中心となって担う仕組みを作る

中学校教育振興費（教育総務課）295万8千円 増額

令和6年度長崎県中学校総合体育大会におけるバス代・宿泊代等の物価高騰による増加、及び壱岐市選手団の活躍に伴う上位大会出場に係る費用を補助し、スポーツ活動を通じた生徒の健全な育成を図る。

●事業内容

①上位大会（九州・全国大会）出場に係る費用に対する補助

〈九州大会〉①相撲（個人）郷ノ浦中学校 ②陸上 郷ノ浦中学校

〈全国大会〉①相撲 郷ノ浦中学校

②バス代・宿泊代の物価高騰による増額

9月追加補正**令和6年8月に発生した台風10号により
被災した公共施設等の災害復旧費 総額1億2,680万円****地域情報通信推進事業（情報管理課）778万8千円****●事業内容** 市内CATV光ファイバーケーブル修繕

①ドロップケーブル修繕 90箇所 ②倒木・垂れ下がり修繕 20箇所

③三島海底ケーブル立ち上がり線修繕 1箇所

原子力災害対策事業（危機管理課）142万1千円**●事業内容** 三島(長島)地区放射線防護対策施設 屋根補修工事(発電機室)**壱岐西部開発総合センター（社会教育課）17万8千円****●事業内容** ①地下駐車場天井修繕 ②玄関ホール雨漏り修繕**大谷公園・体育館（社会教育課）30万8千円****●事業内容** ①大谷公園ゲートボール場 屋根修繕 ②大谷公園管理棟横 フェンス修繕**農地及び農業用施設災害復旧事業【現年災】（農林課）6,990万5千円****●事業内容** 測量設計、復旧工事、その他(崩土除去等)

○補助災害(復旧工事) ①農地 10地区 ②農業用施設 6地区

○単独災害(修繕、小災害補助) ①農地 6地区 ②農業用施設等 11地区

公共土木施設災害復旧事業【現年災補助】（建設課）2,020万円**●事業内容** 復旧工事 ①道路災害 2箇所 ②河川災害 1箇所**公共土木施設災害復旧事業【現年災単独】（建設課）2,700万円****●事業内容** 復旧工事、その他(倒木除去等)

①倒木処理 21箇所 ②カーブミラー修繕 9箇所 ③仮設道設置 1箇所

④道路災害 5箇所 ⑤河川災害 2箇所

議案と審議結果一覧表

開催月	議案番号	議 案 件 名	付託委員会	本会議採決結果	
8月	議案第40号	壱岐市告知放送個別受信機購入契約の締結について	省略	8/8	可決
	議案第41号	初山漁港(初瀬地区)漁村再生工事(2工区)請負契約の締結について	省略	8/8	可決
9月	報告第6号	令和5年度壱岐空港ターミナルビル株式会社に係る経営状況の報告について	—	9/10	報告済
	報告第7号	令和5年度株式会社壱岐カントリー倶楽部に係る経営状況の報告について	—	9/10	報告済
	報告第8号	令和5年度公益財団法人壱岐栽培漁業振興公社に係る経営状況の報告について	—	9/10	報告済
	報告第9号	令和5年度一般財団法人壱岐市開発公社に係る経営状況の報告について	—	9/10	報告済
	報告第10号	令和5年度一般社団法人壱岐市ふるさと商社に係る経営状況の報告について	—	9/10	報告済
	報告第11号	令和5年度壱岐市財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—	9/10	報告済
	議案第42号	壱岐市行政組織条例の一部改正について	総務文教厚生	9/25	可決
	議案第43号	壱岐市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	9/25	可決
	議案第44号	壱岐市へき地保育所設置条例の一部改正について	総務文教厚生	9/25	可決
	議案第45号	壱岐市国民健康保険条例の一部改正について	総務文教厚生	9/25	可決
	議案第46号	公の施設の指定管理者の指定について(壱岐市ケーブルテレビ施設)	産業建設	9/25	可決
	議案第47号	令和6年度壱岐市一般会計補正予算(第2号)	予算特別	9/25	可決
	議案第48号	令和6年度壱岐市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	総務文教厚生	9/25	可決
	議案第49号	令和6年度壱岐市三島航路事業特別会計補正予算(第1号)	総務文教厚生	9/25	可決
	議案第50号	損害賠償の額の決定について	省略	9/25	可決
	議案第51号	令和6年度壱岐市一般会計補正予算(第3号)	省略	9/25	可決
	認定第1号	令和5年度壱岐市一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別	—	継続審査
	認定第2号	令和5年度壱岐市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/25	認定
	認定第3号	令和5年度壱岐市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/25	認定
	認定第4号	令和5年度壱岐市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/25	認定
	認定第5号	令和5年度壱岐市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	産業建設	9/25	認定
	認定第6号	令和5年度壱岐市三島航路事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/25	認定
	認定第7号	令和5年度壱岐市農業機械銀行特別会計歳入歳出決算認定について	産業建設	9/25	認定
	認定第8号	令和5年度壱岐市水道事業会計欠損金の処理及び決算の認定について	産業建設	9/25	認定
	諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	9/25	了承
	諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	9/25	了承
	請願第1号	令和6年度 へき地保育所の閉園延長に関する請願	総務文教厚生	9/25	採択

◎8月・9月会議で賛否（賛成、反対）のあった議案

議案名番号	松本順子	樋口伊久磨	武原由里子	山口欽秀	山内豊	中原正博	山川忠久	植村圭司	清水修	土谷勇二	音嶋正吾	豊坂敏文	中田恭一	市山繁	赤木貴尚	賛成	反対	結果
議案第40号 沓崎市告知放送個別受信機購入契約の締結について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	13	2	可決
議案第42号 沓崎市行政組織条例の一部改正について	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	3	可決
議案第44号 沓崎市へき地保育所設置条例の一部改正について	×	○	×	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	8	7	可決
議案第45号 沓崎市国民健康保険条例の一部改正について	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2	可決
議案第47号 令和6年度沓崎市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	可決
認定第2号 令和5年度沓崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2	認定
認定第3号 令和5年度沓崎市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2	認定
認定第4号 令和5年度沓崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2	認定
請願第1号 令和6年度 へき地保育所の閉園延長に関する請願	○	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	8	7	採択

小金丸 益明議員は議長のため採決には入りません。

議案第44号 反対3件・賛成3件の討論あり、議案第45号・47号と認定第2号・3号・4号 反対討論1件ずつあり、
請願第1号 反対1件・賛成3件の討論あり



委員会レポート



総務文教厚生常任委員会

9月会議で付託された議案6件については5件可決、1件否決、認定4件については全て認定、
請願1件については採択とした。

【委員会意見】

認定第2号から第4号については、啓発活動やインセンティブ事業等で、特定健診の受診率向上につながる取組は評価できる。

市民健康保持増進のため、引き続き、効果的な特定健診・特定保健指導の実施、フレイル予防重症化予防等の、より一層の推進に努められたい。

また、各保険税・保険料については、今後も歳出増加が想定され、滞納繰越になってからの徴収は非常に困難となるため、現年度分の収納率向上に努められたい。

請願第1号：令和6年度 へき地保育所の閉園延長に関する請願

請願の趣旨を尊重すること。



産業建設常任委員会

9月会議で付託された議案1件については可決、認定3件については全て認定とした。

【委員会意見】

認定第5号・7号・8号の未収金の回収については、収入未済額の縮減と公平・公正な債権管理を行うため債権管理室へ債権を移管し、債権回収業務の一元化を求める。



予算特別委員会

9月会議で付託された令和6年度壱岐市一般会計補正予算（第2号）については原案のとおり可決した。



決算特別委員会

9月会議で付託された令和5年度壱岐市一般会計歳入歳出決算認定については継続審査とした。今後、常任委員会ごとに所管の項目を審査し、次の会議で採決する。





一般質問

9人が登壇 市政を問う

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問議員自らが、原稿執筆したものです。

右下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ってダウンロードすると、一般質問の音声を聴くことができます。

※読み取り方法は、スマートフォン等の機種によって異なります。

※ダウンロードすると、通信料が発生します。費用は利用者の負担になります。



清水 修 議員

質問 柳田保育所の延長の考えはできないか

答 まずは集約化し、認定こども園等の次の施策へつなぐ

清水 ヘキ地保育所の閉所方針について理解するが、入所希望が10人以上なら延長するなどの考えはできないか。

市長 仮に募集をかけるとなった場合、1名でも入所希望があれば受け入れることになり、集団での学びや活動の制限が生まれる。方針を変えて延長した場合、これまで集約化へ協力いただき閉所・休園した、渡良・初山・沼津・志原の関係者、地域の方々への方針変更を伝えることができない。生の声を伺い、何度も考えて総合的に判断した。まずは集約化し、認定こども園等の次の施策へつなげていく。

清水 この時期での閉所可決は、水戸黄門の印籠

になるのではないかと。

市長 閉所議案が可決されたからといって請願が全て認められないとは思っていない。保護者の皆様に寄り添うという形で、その文言も一部盛り込みながら納得のいく形で進めたいと思っている。

安全・安心まちづくりについて

清水 台風10号の接近に対し、地域のまちづくり協議会が、市からの避難所開設が指示されていないが独自に自主防災活動として開設した。その時の責任について市の見解を聞く。

総務部長 自主避難所の開設では、自主防災組織の責任において運営をお願いしたい。災害補償については、市が加入している総合賠償補償保険制度の対象になる可能性もあるため市への連絡を。現在は市からの物資等の提供は行っていないが、他市町での取組を参考にしながら検討していきたい。



松本 順子 議員

質問 イルカパークの経営情報開示を求める声が多数あるが、開示できないか

答 市が保有する書類については苓岐市情報公開条例に基づき可能

松本 イルカの死因がまだ解明されていない状況での新たなイルカの購入は、生体販売目的のイルカ追い込み猟で世界的にバッシングされている太地町からの購入であり。動物愛護の観点からそれを苓岐の観光の目玉と言ってよいのか。飼育自体が虐待と言われる時代である。

企画振興部長 管理・環境検討委員会を開催、年内に飼育環境改善、イルカ死亡原因の意見を取りまとめ、次回の指定管理公募に反映させたい。市民から「必要ない。」という声があっても、市としては重要で必要な観光拠点。動物愛護の観点では、イルカがストレスなく生活できる環境を整え、来訪される方々にも共生を学べる施設としての運営を目指す。

食について

松本 苓岐市の食料自給率は。5月に食料・農業・農村基本法が改正。輸入に頼る政策で、国による農業潰しとしか思えない。農家や農協の努力にも限界

があり漁業も同じ。国が守らないのであれば自分たちで守るしかないが、市はどうやって守るのか。現在の従事者と後継者にこそ手厚い補助が必要では。

農林水産部長 本市の食料自給率を数値で示すのは困難。また改正法は輸入に頼るものではなく、国内農業生産の増大を図ることを基本としている。農業・漁業ともに支援は必要。国・県の事業を活用した各種事業に取り組み、進める。

松本 災害や戦争も視野に入れ、市民が飢えないよう、苓岐の島だけで食べていけるよう、また苓岐だけで回る経済の仕組みを考えられないか。

農林水産部長 国の政策に合わせた対応を取りたい。

松本 海峡封鎖を想定し有機農業・自然栽培にシフトできないか。安心安全な食べ物は市民の健康や観光客の増加につながる。

農林水産部長 中長期的な細やかな取組が必要。急激な転換はできない。

コロナワクチン秋接種について

松本 苓岐市は、どの製薬会社のどの種類を接種するのか。

保健環境部長 市では特定しない。各医療機関が薬事承認されたワクチンを購入し接種することになる。



山口 欽秀 議員

質問 国民健康保険税は、市民に過大な負担との認識はあるか

答 大きな負担と認識

山口 高すぎる国保税について。国保税の負担軽減のための手立ての必要性は認識しているか。

保健環境部長 低所得者への負担軽減措置はすでに実施。医療費が増加しないように特定健診、各種保健事業を行っている。

山口 負担軽減措置は充分効果が上がっているということか。

保健環境部長 今後も負担軽減に向けて努力していく。

山口 基金からの繰入れによる値上げを押しとどめる考えは。

保健環境部長 基金からの繰入れもある。危機感を持って進めていく。

山口 今後、国保税の引き上げを抑える考えはあるのか。

保健環境部長 国保税の引き上げを抑えるには、

医療費を抑える以外にない。

山口 法定内での繰入れの方策を検討すべきだ。

マイナ保険証の問題について

山口 12月2日以降も今の保険証でも利用できると周知を。

保健環境部長 マイナ保険証以外での受診を制限するものではないと周知に努める。

山口 今の保険証に代わる『資格確認書』はどのようなものか。

保健環境部長 今の保険証の期限が切れる前に送付される。申請手続きは必要なく、現在の保険証と同じ内容のものである。

山口 マイナ保険証を作ることが困難な高齢者等への対応は。

市民部長 今月末から委託業者が市内各地へ出向いて申請をサポートする。

山口 マイナ保険証の期限が切れた時の手続きは。

保健環境部長 マイナンバーカードの有効期限は5年。有効期限の3ヶ月前から申請をすることに。手続きをしないと自動的に切れ、利用できなくなる。

山口 正確な情報を市民に知らせること。市民の健康・命を守り、病院に安心してかかる体制の確立に努めてもらいたい。





武原 由里子 議員

質問 老朽化に備える公共施設マネジメントについて

答 公共施設等総合管理計画や個別施設計画に基づき取組む

武原 緊急防災・減災事業債の利用について。

総務部長 これまで沓岐の島ホールなどの指定避難所における非常用発電設備整備に活用。

武原 指定避難所になっている石田スポーツセンターの空調設備にも利用できるため早急に検討をして欲しい。公共施設の更新予定を踏まえ立地適性化計画が必要では。

建設部長 交付金や補助金の上乗せや重点配分等の集中的支援の対象となるため研究していく。

移住定住政策の課題と方策について

武原 移住定住政策の成果と検証は。

企画振興部長 平成28年～令和5年まで635人移住後48人が転出し定住率92.4%。空き家143件、空き地13件の登録。成約済み、商談中91件。

武原 空き家バンクの見直しは。

企画振興部長 不動産会社などの専門家や空き家

等管理活用支援法人の指定を行い、トラブル対応できるよう検討中。

武原 5年未満で転出された移住者への補助金返納の実態は。

企画振興部長 返納回収率は把握できていない。

武原 単身移住者向けの住宅が少ないため今後、対策が必要ではないか。

沓岐市の幼児保育・教育のグランドデザインについて

武原 統廃合や再配置を進めるためには行政内での体制においてまず、幼保一元化するべきではないか。

市民部長 今後研究していく。

武原 公園やスポーツ施設との複合化による保育施設等の整備の視点が必要ではないか。

建設部長 複合施設を含めた施設の再配置を研究する。

教育次長 市民の利便性向上につながる施設の複合化を研究していく。

市長 市のグランドデザインは総合計画。シン市役所として横串を刺した企画総合調整会議を考えていきたい。



山内 豊 議員

質問 教職員の働き方改革は

答 方向性としては3つある

山内 沓岐市教育現場での具体的な改革は。

教育長 今年度から市内中学校と2つの小学校にスクールサポートスタッフを1名ずつ配置。資料印刷や教材づくり等をしてもらう新たな人材の確保。また、学校閉庁日を設けることで、先生方がリフレッシュをする機会を作ることによる休みの充実。今年度から市内児童生徒のタブレット端末に、ミライシードという学習用ソフトで授業のやり方を支援したり、AIドリルやtutoruなどを使った業務の軽減を図るためのデジタル化である。

山内 保護者、児童生徒へのしわ寄せはないか。

教育長 現在までに、これといった苦情は届いていないが、これまで教職員が時間外に行っていたことができなくなってきている。その部分については、コミュ



ニティ・スクール等で協議され、適正に対応していただいているものと理解している。

三島地区の通信遮断について

山内 二次離島ということもあり、災害時には復旧まで遅れがちになる。中でも、情報網が断たれた時の島民の不安は計り知れない。自助・共助を行った上での行政の役割は。

総務部長 防災、減災に努めるとともに、通信手段に関しては沓岐市公式LINEや防災メール、そして新たな取組として、ケーブルテレビのアプリの利用について周知徹底を図っていく。

辞令交付、辞令交付式の必要性について

山内 時間や紙の無駄ではないか。

総務部長 昨年度末39名、今年4月15名へ辞令を交付。その際、所要時間は20分程度。また、沓岐市公文例規程に公文書として定め、公務員の任命、承認、異動、懲戒処分などの人事決定が行われたことを証明するものであり、非常に重要。

教育次長 市長部局と同じく重要な意義があるものと考えてるが、交付の方法については検討の余地があると考えてる。



植村 圭司 議員

質問 子育て政策の新しい基本方針が必要

答 新たに考え直し、進める

植村 子ども子育て計画の大方針が不明な状態だが、市民部と教育委員会の協議状況は。策定中の「こども計画」に、全体構想を考え直した、新しい基本政策を入れてはどうか。子ども子育て関連資料の公開が限定的で議論が不透明。誰でも容易に見られるようにすべきでは。

教育長 やっと幼稚園の統合を始めた。これから必要に応じて市民部と公式な会議をもつ。

市民部長 社会情勢が大きく変化し児童減少も想定以上。子ども施策の取組を迅速かつ確実に進めたい。考え直すことは非常に大切と認識。資料はホームページ等、可能な方法で掲載を検討。市民に分かりやすく伝えるよう努める。

植村 自治基本条例に情報提供に関する記載がある。職員と市民に周知を徹底して欲しい。

市長 市民の皆様と情報を共有することが必要。広報広聴に力を入れる。

市道除草や高枝伐採の市民負担について

植村 人口減少と高齢化により自分たちでできない地域が増えている。負担軽減に農業機械銀行等の活用はどうか。

建設部長 市道総延長1,337kmで非常に長い。農業機械銀行に全委託は無理なので、連携を図っていく。また地元の労力の軽減、助成単価について研究を続ける。

企業版ふるさと納税の充実を

植村 専属職員が1人と伺った。民間企業の都合に合わせて機会を失うことにもなりかねない。手薄ではいけない、充実を。

市長 主担当は係長、他に課長と担当者の3名で業務に当たっている。寄付機会の喪失にならないよう、企業の提案や要望に対し、丁寧かつ速やかな対応はもとより、良好な関係性の構築など、適切な対応に努める。



赤木 貴尚 議員

質問 市民プールの建設の考えはないか

答 現時点では建設の考えはない

赤木 彦根市内小・中学校の年間のプール維持費は。

教育次長 利用期間は約3か月(水道料、水質管理、機械保守等)プール維持管理費の総額は昨年のデータで小学校414万円、中学校113万円。

赤木 将来、新しい学校建設時、プールは常設か。

教育次長 現在、新学校建設の計画はないが、新たな学校建設や再編の協議を行う時はプール建設費やランニングコスト、周辺のプール施設の状況を考慮し、必要性を検討していく。

赤木 市民プール建設の考えは。

教育次長 勝本B&Gプールの大規模修繕を行い、多くの人々が利用できる「市民プール」として、また、学校プールの代替として機能させる。

防災ヘリポートについて

赤木 防災ヘリポートの必要性についてどのように考えているのか。

消防長 災害派遣に伴う、自衛隊等のヘリコプターは彦根空港のみ、ドクターヘリは市内13か所、長崎県防災ヘリは彦根空港、各学校グラウンドを発着可能場所としており、専用ヘリポートの必要性はない。

赤木 ここ4年間のドクターヘリの発着回数は約6日に1回、発着場所は救急病院の近くで大谷グラウンドが主。周辺家屋への騒音や振動、また行事等で使用中は患者家族のプライバシーの確保が厳しい。また、グラウンドの砂埃は機体に悪影響。市有地、民有地も含め建設の必要性を感じるが市長の考えは。

市長 現状の発着場所にて対応可能で必要性はないが、※UPZ圏内等、財政面問題も含め検討していく。

※注釈：UPZ(緊急時防護措置を準備する区域)

原子力災害発生時の屋内退避などの防護措置を行う区域のことで、原子力発電所からおおむね半径5〜30kmの区域。



音嶋 正吾 議員

質問 道路整備の在り方について

答 当面は官民協力をして維持管理に努めていきたい

音嶋 少子高齢化と人口減少が加速し、安全安心で快適に通行できるインフラの整備が喫緊の課題である。

市長 市民の皆様と一緒に進んでいかなければならないと考えている。市民の皆様を支えていくことが行政の仕事であるため、そういった抜本的なことも考えながら、今後の時代に合わせ取り組んでいきたい。

音嶋 高齢者が年々増加傾向であり、作業に従事できる人が減少している。将来を見据えた抜本的解決策を策定すべき。

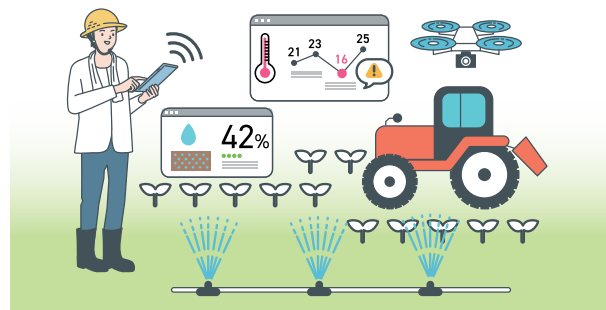
市長 今後、年次的に検討を行い、時代にふさわしい管理方法を策定したい。

吉岡市の農業について

音嶋 吉岡市農協は第9次営農計画を策定し、販売高100億円、営農組織団体100組織、新規就農

者100人の目標を掲げて鋭意邁進中である。吉岡市の潜在力を活かした有効な産業であり、雇用創出の産業である。本市の持続可能な産業であり、吉岡市再生のパイオニアである。積極的な取組を強力に推進すべき。

農林水産部長 吉岡市農協が中心となり、関係機関と吉岡地域農業戦略会議を立ち上げ、実効性のある振興策を議論し、策定されたものが第9次営農計画である。産地強化・担い手育成・地域活性化の3つを大きな柱として活力ある吉岡農業の実現へ向け、取り組んでいる。また、平成30年度から、SDGs未来課においてスマート技術AIかん水施肥装置の導入等スマート農業の取組も推進している。



市山 繁 議員

質問 吉岡空港滑走路端安全区域(リーサ)工事について

答 県より本年度、概略設計を実施する予定とのこと

市山 国・県の通達では、令和8年度までに着工とされていたが、その後令和8年度までに実施計画でもよいと緩和されている県の事業であるが、空港の所在地は吉岡市である。リーサ工事計画拡張による民地の所有者、地元漁業関係者への説明。用地買収、吉岡市への説明や協力要請はあったのか。

総務部長 昨年度末に吉岡振興局建設課において吉岡市担当者も同席のもと、地元漁協や公民館長へ説明を実施。本年度、概略設計を行う予定、本設計にて詳細な構造等が明らかになる。現在、まだ用地買収が必要となる範囲を明確にできない状況。

市山 リーサ工事也大規模のようだが、工事着工、工期完成予定については。

総務部長 着工、完成予定については県も市の協力を得ながら早期に着工、必要な予算を確保してできるだけ早い時期の完成を目指すとのこと。

吉岡空港ターミナルビル改築について

市山 空港ターミナルビル建設の場所(位置)は滑走路が基準であり、滑走路延長の要望書も提出されているが、滑走路延長は不可能という県知事の厳しい回答で現状では改築はできない。現空港ターミナルビルの老朽化が危惧されているが、考えは。

市長 滑走路の延長ができるか否か不透明な現状では、ターミナルビル改築に踏み切れない。滑走路延長の要望は引き続き継続していくが、並行してターミナルビルの建て替えについて研究を始めたい。

市山 吉岡市消防署前のSLは展示開始から50年を経過し腐食等でひどい状態。今後の維持・存続をJR九州と協議されては。

企画振興部長 JR九州に維持・修復を依頼するのは契約上困難。しかし、SL88622修復の会が修復に取組みたいとの意向を示されており、市としては修復の会より準備が整い次第作業を進めるよう考えている。



SL88622

市民の声

「議会だより第82号」
クイズ応募者よりいただいた
ご意見ご感想です。



壱岐は四方を海に
囲まれていて宝です。
この夏、沢山の観光客
に足を運んでほしい
です。(69歳)

こんなに災害の少ないきれいな島
です。もっとターン、Uターンが増えれ
ばいいですね。福岡も近いし遊びにも
行けます。高速船の故障が多いよう
ですがどうにかありませんか?(67歳)

毎号楽しみにして読ん
でいます!(69歳)

青少年の為に壱岐の美しい
夜空が観れる施設を。(70歳)

議会だよりは壱岐の事がよく
わかってgoodです。(36歳)



勝本中学校体育大会

クイズに答えて図書カード(1,000円)が当たります。
皆様のご応募待ってま〜す!!

議会だよりクイズ

この議会だよりの中に
答えがありますので、
最初から最後まで良く
読んでみてください。



秋雨に濡れる彼岸花

Q1 吉崎市〇〇〇〇条例の「高齢者福祉に関すること。」を市民部から保健環境部へ移管する。

Q2 ジェットfoil更新支援事業の吉崎市の建造費負担割合は〇分の1。

Q3 9月会議で総務文教厚生常任委員会に〇件の議案が付託された。

第82回クイズの答え

- ① 高校生
- ② 2
- ③ 4

第82回クイズの当選者

松永伊穂子 様
吉永香代子 様
村川浩一郎 様
山川 晴子 様
篠崎 京子 様
おめでとうございます!

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。

議会だよりを読んだご感想や、市政へのご意見・ご要望などお書き添えください。

ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。

正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》 〒811-5521

吉崎市勝本町西戸触182-5 吉崎市議会事務局宛

《しめきり》 令和6年11月30日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表及び『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

編集後記

松本 順子



残暑が厳し過ぎた9月。外仕事をされている方々は熱中症と背中合わせの毎日で、本当に大変な思いをされたことでしょう。彼岸も中日を過ぎ、いくらか過ぎやすくなりました。

9月会議は予算・決算、条例改正案に市民からの請願もあり、皆様に高い関心を寄せていただけたのではないのでしょうか。議会の最終日には台風被害への予算も組まれました。作業をされる方々のご無事と一日も早い復旧を願います。

この議会だよりが届く頃には、爽やかな秋風が島を包んでいきますように。

議会広報特別委員会
委員長 樋口伊久磨
副委員長 清水 修
委員 松本 順子
市山 繁
中田 恭一
土谷 勇二
山川 忠久
山内 豊

お知らせ

吉崎市ホームページ

<https://www.city.iki.nagasaki.jp> の市議会のインデックス(見出し)を検索すると、市長行政報告及び議員の一般質問の音声を生で聴くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所郷ノ浦庁舎(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。



公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の金品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。

市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

吉崎市議会議員一同

発行責任者 議長 小金丸益明
編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県吉崎市勝本町西戸触182-5

TEL : 0920-42-1114

FAX : 0920-42-0096

【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】 <https://www.city.iki.nagasaki.jp/>

